

1. 件 名：BWRの未適合炉における使用済燃料貯蔵槽の監視に係るERSS伝送データに関する面談について

2. 日 時：令和3年2月17日 14:05～15:00

3. 場 所：原子力規制庁 3階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁

緊急事案対策室 児玉企画調整官、宮地防災専門官、平野室長補佐

情報システム室 守屋専門職

中部電力株式会社 原子力部 防災・核物質防護G 課長他1名

東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部 防災安全G GM 他1名

原子力エネルギー協議会 副長

(以下、テレビ会議システムによる出席)

東北電力株式会社 原子力本部 原子力部 担当

東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部 防災安全G 副長

他1名

北陸電力株式会社 原子力部 原子力防災チーム 主任

中国電力株式会社 電源事業本部 原子力運営グループ 副長 他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 警備・防災グループ 主任

5. 要 旨

原子力エネルギー協議会等から、BWRの未適合炉における緊急時対策支援システム（ERSS）への使用済燃料貯蔵槽に関する伝送項目について、配付資料に基づき、今後の対応の進め方について、説明があった。

原子力規制庁から、使用済燃料貯蔵槽に係る緊急時活動レベル（EAL）の判断に必要な情報の伝送に関して、設備（水位計）を設置するまでの代替手段、代替手段を用いる必要性（設備が整備途中である等の理由）、設備の整備完了時期の考え方、代替手段によるEALの判断の考え方等を確認した。

原子力エネルギー協議会から、使用済燃料貯蔵槽に係るEALの判断に必要な情報のERSSへの伝送について、対応を進める旨回答があった。

6. その他

配布資料：

資料 1 「未適合炉における使用済燃料貯蔵槽に係るERSSへの伝送項目について」